社協だより
ゆめ
No.141

平成22年度 赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございました

実績額　18,637,739円（23年1月20日現在）

地　区	16,743,463円	学　校	70,454円
募金箱等	13,784円	窓　口	1,810,038円

◆募金額の使用見込み

3,500,000円 → 県共同募金会へ繰り入れ、県内の施設や社会福祉事業への助成に使われます

15,137,739円 → 岡谷市社会福祉協議会へ配分され次の事業等に使われます

- ●地区敬老事業助成
- ●地区社協活動事業への助成
- ●罹災者に対する見舞い
- ●ふれあいいきいきサロン事業
- ●社会福祉推進校事業（小・中・高校15校）
- ●各地区児童遊園地新設・整備事業への助成
- ●ボランティア等地域福祉活動振興補助事業
- ●福祉関係団体への助成（高齢者クラブ連合会・ボランティア連絡協議会・民生児童委員協議会・母子寡婦福祉連合会・手をつなぐ親の会・保護司会・人権擁護委員会等）

窓口寄付

■法人・団体

長地ファイヤードラゴンズ様
岡谷市仏教婦人連合会様
照光寺智山婦人会様
ボーイスカウト岡谷第1団様
ボーイスカウト岡谷第2団様
うしお様
諏訪友の会様
宗教法人真如苑岡谷支部様
三沢会計事務所・㈱FPプライム社員一同様
ひよこの森アトリエ様
帝国ピストンリング労働組合様・テーピ興産労働組合様
帝友会様
岡谷料食睦会様
聖母幼稚園様
ヤコブ幼稚園様
京セラ㈱長野岡谷工場従業員一同様
京セラ㈱長野岡谷工場様
京セラ労働組合長野岡谷支部様
京セラエルコ㈱岡谷事業所従業員一同様
京セラキンセキ㈱岡谷事業所従業員一同様
㈱岡谷中部建設様
少年野球「もみじ大会」様
㈱日本ピスコ社員一同様
㈱ダイヤ精機労働組合様
八十二銀行ボランティアクラブ様
ケーエスビー丸山グループ様

■個人大口

宮原友保様　金松　玄様
川崎展司様　向山弘茂様

主な内容 CONTENTS

平成22年度 赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございました……22
社会福祉推進校事業……23
こども福祉教室を開催しています！……24・25

スローガン
みんなで築く
みんなの福祉
みんなの未来（あした）

●発行・編集●
岡谷市社会福祉協議会
〒394-0081
岡谷市長地権現町4-11-50
☎ 24-2121
FAX 24-3555
＊
ホームページアドレス
www.okaya-shakyo.or.jp
＊
メールアドレス
info@okaya-shakyo.or.jp

「社協だよりゆめ」は共同募金の配分金で印刷されています

社会福祉推進校事業

岡谷市社会福祉協議会では、福祉教育を推進するために、学校が実施する事業経費の一部補助、講師の派遣・紹介、福祉教育プログラム作成、体験学習の提供等を行なっています。

また、学校・地域等で体験学習が出来るように、車いす・高齢者擬似体験セット・点字器等の貸出を行なっています。（事前に申込みが必要です）

問合せ　市社協　TEL 24－2121　　FAX 24－3555

小井川小学校　点字体験・目の不自由な方のお話

目の不自由な方の日常生活の工夫や食事の様子等、また、ガイドヘルパーさんは、安全に案内するだけでなく景色や周りの状況も伝え、視覚障害者と社会をつなぐ大切な役割を果たしていることも学びました。

点字の成り立ち、打ち方を習い、打った点字を今井さんに読んでいただきました。

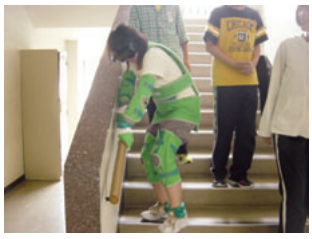
田中小学校

・林さんは、小学校２年生のときから盲学校で点字を習い、覚えるのに１年間もかかったそうです。目が見えないために、つらい思いをしているけれど、マッサージの仕事やいろいろなことをやっていてすごいなと思いました。

・電車に乗るより切符を買うほうが大変と言う話を聞き確かにそうだと思いました。（感想文より抜粋）

高齢者擬似体験　川岸小学校

白内障になったらどうみえるのか？　新聞を一枚ずつめくる大変さや、階段の上り下りにある危険などを実際に体験しました。自分たちが当たり前に出来ることも、お年寄りには時間がかかることもあることを知り、余裕を持って待ってあげる大切さを学びました。



車いすを利用されている方のお話　湊小学校

「車いすを使うようになって」をテーマに浜蕗子・輝さん親子にお話をしていただきました。

『病気の後遺症で、外出には車いすを使うようになり、階段、道路の凸凹などちょっとした段差に不自由さ、不便さを実感しています。しかし、みなさんの温かい心とやさしい手助けがあれば、社会や地域の方と積極的に関わることができ、行動範囲を広げることが出来ます。最後に、全校児童で“車いすの方を見かけたら「何かお手伝いしましょうか」と勇気を持って声がけをします”と約束してくださり、大変うれしい気持ちになりました。』（講演より）

手話体験　田中小学校　２年生

聴覚障害の米田さんから日常生活で困ることを話していただきました。耳の不自由な方とコミュニケーションをとる方法、日常会話の手話や、「犬のおまわりさん」の歌に手話をつけ、名前や住所を聞く表現方法を習いました。

１学期の終業式には、全校生徒の前で手話や歌の発表を行ないました。

吹奏楽部　東部中学校

ふれあい祭り＆ボランティア祭りに参加していただきお祭りに花を添えていただきました。

聞き応えのあるすばらしい演奏だったね。

市社協の情報はホームページでもご覧いただけます。www.okaya-shakyo.or.jp

こども福祉教室を開催しています！

こども福祉教室は「福祉の心を育てよう」を合言葉に、子どもたちが様々な体験や出会った人々との関わりを通して“思いやりの心”を持てるように、また「自分の思いや意見を人前ではっきり言えるような人になりましょう。」との願いから毎年実施しています。
今回は６月～12 月までの活動をご紹介します！

ぞうきん作り＆手遊びを学ぼう！ ～６月～

７月に訪問する施設のおじいさん、おばあさんへプレゼントするぞうきんを作りました。
初めて縫い物に挑戦する子も多くタオルの重なる部分では、力がうまく入らずになかなか次へ進めない子もいましたが、周りのお友達やスタッフに手伝ってもらいながら、一針一針心をこめて縫っていました。
縫い終わった後、施設で一緒に行う“手遊び”を教わり、繰り返し練習しました。「忘れないように家で練習してくるね！」という子どももいました。

施設訪問と信州スカイパーク散策 ～７月～

６月に作ったぞうきんをプレゼントすると、「がんばって縫ってくれたんだね。ありがとう！」と喜んでいただき、子どもたちもうれしそうでした。
その後は、練習した手遊びを一緒に楽しんだり、校歌を歌ったりして交流しました。子どもたちも最初は緊張していましたが、手をつなぎながら話したり、視線を合わせて話すなど工夫していました。
帰る時間になると「もう少しいてほしいけど…また来てね。」と名残惜しそうに、子どもたちが見えなくなるまで手を振って見送っていただきました。

清掃工場見学＆やまびこ公園でバーベキュー ～８月～

清掃工場では、昨年から始まった“ゴミの分別”について詳しく説明していただきました。
自分たちがどのくらいゴミを出していて、分別するとどのくらい減るのか、また「これって燃えるごみ？プラ？資源？」など判断しにくいゴミについても、具体的に教えていただき、子どもたちも熱心にメモをとりながら学んでいました。
学んだあとは、お待ちかねのバーベキュー！汗をいっぱいかきながら美味しいお肉をお腹いっぱい食べ、夏休みの良い思い出になりました。

最初のうちは自分から話すことができなかった子どもも、最近では積極的に掃除や片付けを手伝ってくれるようになり、成長を感じています。
残りわずかですが、様々な経験を通して子どもたちが“思いやりの心”を持ってくれることをスタッフ一同願っています。ひと回り大きくなった姿を見るのが今から楽しみです。

こども福祉教室スタッフ一同

「社協だよりゆめ」は共同募金の配分金で印刷されています

塩嶺閣で自然体験をしよう!! ～11月～

塩嶺閣では、鳥の羽を収集した“おもしろ羽展”を見学しました。苦労して集められた50種類の羽が美しく展示され、鳥の習性、翼の仕組み等の解説は、興味深いものばかりでした。

その後、市小鳥の森コーディネーター・日本野鳥の会諏訪会長の林正敏さんから、トキの生態、諏訪湖に飛来するオオワシのグル、落葉が積もった所に残るイノシシの足跡や、池のほとりに舞い降りる様々な鳥について詳しく教えていただきました。

子どもたちは、慣れない手つきで双眼鏡をのぞきこみながら、自然の不思議と美しさを体感していました。

消しゴムはんこで年賀状作り ～12月～

12月は、子どもたちに手作りの良さを知ってもらうために、自分の名前やイラストを消しゴムに彫る“消しゴムはんこ”作りに挑戦しました。

みんな器用で「フルネーム作ったよ！」「難しかったけど漢字で彫れた！」など子どもならではの視点やアイディアで工夫しながら製作し、楽しみながら心のこもった年賀状を作ることができました。

「楽しかった～！家の年賀状でも使ってみるね。」と話してくれる子や「おばあちゃんに出すんだ！」という子もいました。

こども福祉教室では、23年4月から参加していただけるスタッフを募集しています。

活動内容は、子どもの活動補助や準備の手伝い、1年間のプログラム作成などに協力していただきます。

子どもが好きな方で中学生以上であれば、年齢・性別は問いません。（年間2,000円の参加費が必要です。）

子どもたちと一緒に、楽しみながら学びませんか？　詳しくは、下記までお問合せください。

市社協　TEL 24−2121

おかやボランティア連絡協議会　研修会のお知らせ

今回の研修会では、傾聴ボランティア活動でご活躍の野崎恵子さんから“相手の話を聴くための心構えや注意すること”などを教えていただき、小松令子さんから“すぐに使える手遊び”を教えていただきます。どなたでも参加いただけますので、ぜひお越しください！

★**日　時**　平成23年2月12日（土）　午後1時～3時
★**会　場**　おかや総合福祉センター（諏訪湖ハイツ）大会議室
★**内　容**　「話を聴かせていただくために ～傾聴ボランティア～」
講師：傾聴みみずく会長　野崎恵子さん
「手遊びを覚えよう！」講師：小松令子さん
★**その他**　手話・要約筆記通訳がつきます。

参加費無料

詳しくは下記までお問合せください。
おかやボランティア連絡協議会　27−7320（矢崎）
岡谷市社会福祉協議会　24−2121